

窓を選ぶことの大切さ

住まいの快適さは、窓で決まります。



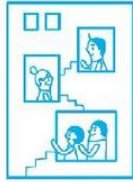
間取りを考える時が「窓」を考えるタイミング。家づくりの手順の中で、光や風を意識して間取りを考える時が「窓選び」のタイミングです。

1.どんな場所に建てますか？



その土地がどのような気温や湿度や日当たり・風道しなのかを前もって把握しておきましょう。

2.どんな大きさの家を建てますか？



家族構成やライフスタイルで2階建てや3階建てに。

3.どんな間取り(窓採り)の家にしますか？



光や風を意識した「窓採りデザイン」を取入れることで住まいの快適性が大きく変わります。

4.どんなスタイルの家にしますか？



洋風・和風・モダンなどスタイルはさまざま。

5.どんな設備・仕様に入りますか？



キッチンや浴室などを選びましょう。

6.どんな仕上げや内装に入りますか？



フローリングの材質を選んだりクロスの色を決めたりしましょう。

窓選びを間違えると、こんな困りごとが……。



窓の断熱性を高めれば室内の暑さ寒さを防げます。



ガラスでも遮熱できるのです。



窓の断熱性を高め窓と室温の温度差を減らしましょう。



気密性の高い断熱窓や内窓の設置で防音しましょう。

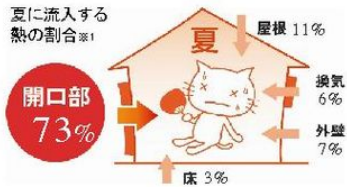


風や光の通り道をつくりましょう。



防犯のためには侵入に手こずる窓にすること。

夏の日射を防ぎ、室内温度の上昇を抑えることで空調の効きがよくなります。

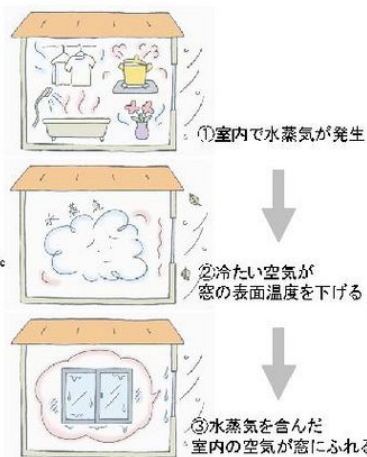


夏に窓から入る熱の内訳 ※単板ガラスの場合

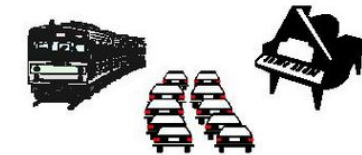
ガラスの構造と断熱性能

窓に使われるガラスにも、求められる断熱性能に応じて様々な種類があります。2枚のガラスを使った複層ガラスは間に空気層があるため、単板ガラスの約2倍以上の断熱効果を実現します。さらに、ガラス表面に特殊な金属膜をコーティングして熱を伝えにくくした「Low-E複層ガラス」は、より高い断熱性能があります。

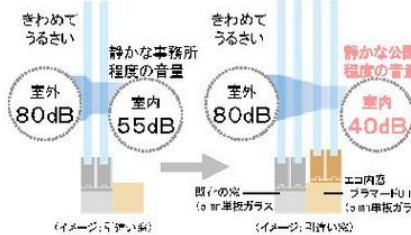
窓が結露するのは、家の中で一番寒い(冷たい)箇所が窓だからです。



気になる音は窓から伝わってきます。



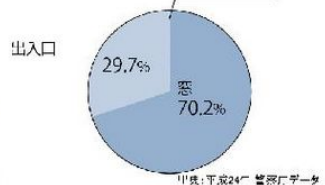
例えば、内窓を付けた場合



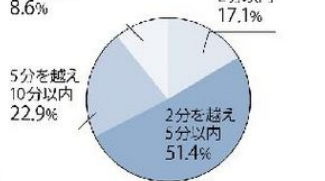
さわやかな風とやさしい光にあふれる家の基本は、「風と光の通り道」があることです。



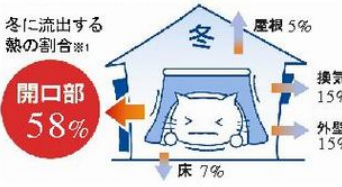
泥棒はどこから入ってくる？ (戸建1階)



侵入をあきらめる時間は？



熱の流出を軽減させることで、暖房の効きがよくなります。



※1 (一社)日入建材「住宅設備実業協会」エネルギー研究所及びセンターホームページ「省エネ建材・快適な家、健康的な家より」

※商品の色は、印刷の特性上、実物と多少異なる場合がありますのでご了承ください。